

『自ら機会を作り出し、機会によって自らを変えよ。』

今年は例年より気温が高く、桜はすでに満開も終わりました。春というか既に夏の気配すら感じる最近ですが、この季節は学生においては就職活動がはじまったり、社会人においては人事異動があったりと、新しいステージに挑戦するというワクワクと不安が混ざり合う出来事が一番多く起こる季節でもあると思います。

今回は特に就職活動スタートを切った、3・4年生向けの内容になっていますが、自分自身に置き換えて、是非皆に読んでもらえればと思います。

僕は就職活動というものをそれほどやったことはないのですが、人が成長するうえでの大切な要素を沢山含んだイベントだと思っています。既に活動中の子は感じたかもしれませんがその要素とは何かというと、それは『棚卸し』です。

棚卸しとは、皆が働いているお店で毎月月末に行われている作業のことですが、冷蔵庫や棚の中に在庫がどれだけあるかを決められた日数毎に正確に数えておくことをいいます。商売をする上で使わなくなったり、使えなくなった不要在庫（ロス）を抱えることは悪とされていますが、正確に把握することで在庫を賞味期限の内に使い切り新たな商品を提供することができるのです。

これは人生においても同じことがいえると思います。人は様々な体験から経験値や能力を得て自分の財産とし、その財産をまた使い、更に大きな経験値と能力を得てステップアップしていくわけです。

しかし、普段生活する中で自分のことって意外なほど自分ではわかっていないことが多いのです。もしくは人が認めている価値と、自分が認めている価値が違う場合が多いのです。

自分というものは、どんな経験値、能力をもっているのか？自分の強みは？弱みは？興味があることは？嫌いなことは？などなど。

話はずいぶんありますが、就職活動では自分と向き合う時間が多くあります。エントリーシートを書き、インターンに行き、セミナーなどに参加したりしている中で、自分の強み、弱み、興味、無関心を改めて知り、自分自身を理解することができるのです。

これが、人生の『棚卸し』です。

まずは自分を知ることです。まずは1枚の紙にでも書き出してみませんか？

自分には何も良いところがなかったらどうしよう？

大丈夫です！もしわからなくても身近な両親や友人に聞いてみましょう。これも意外なほど、そして身近な人ほど自分の良いところって知ってくれているもんです。恐れずに聞いてみましょう。

そして自分自身の棚卸しを行い、自分を知れたら、次は自分の強みや能力を更に伸ばすには？自分の能力が誰の役に立つのか？考え調べ行動し、自らの成長への新たな機会を作りだしてください。

今月の表題の言葉はリクルートの創業者である江副浩正さんが言った言葉です。リクルートという会社は1970年の創業時から今まで、世の中に「新しい価値」を生み出し続けるため、会社よりも個人にフォーカスをあて、社内にはない、今までにない考えを持つ人財の採用を行い、常に新しい事に挑戦をさせ評価をさせる仕組みづくりをおこなってきました。

個の自立こそが何よりも大切で、個人が自ら考え行動できる機会を作り出せる環境をつくることこそが他者にまねできない普遍的な商品を作り続ける唯一のものだと知っていたのです。

余談ですが、リクルート社員の名刺には個人の名前が一番上にきます。会社よりも個人を尊重する。そんな考えが読み取れるのです。

最初にも言いましたが、就職活動とは自分自身を見直すとてもいい機会です。しかし、その機会も周りがやっているから何となく、自分が傷つかないようにやっているのと、この棚卸しを大切な機会であると理解し、しっかりと自分を見直す機会にしているのではその先に待つ経験値に雲泥の差が生まれます。

そして、今既に仕事を持ち、働いている人にはわかると思いますが、社会人になった後は何かを与えられる機会すら減っていきます。自ら考え行動する人はより成長し、それをやらない人はよりやらなくなります。その結果、成長のスピードも経験値もあつという間に離れていくのです。その結果は5年後、10年後、同年代で活躍している人を見た時に気付くことになるのです。

皆に是非言いたい。今からでも決して遅くはありません。自己成長したいという気持ちと機会を作りだす習慣を身につけてください。失敗や批判など恐れず進化や変化を楽し

み、大きく飛躍する未来を思い描いてください。 そうすれば今持っている不安や恐れは消え、ワクワクする毎日が皆に訪れることになるでしょう！

必ずできます！！

“自ら機会を作り出し、機会によって自らを変えよ”

2018. 4. 4 松岡 保浩